

5 - 1 中部地方北西部(飛騨地方北部及び周辺)の最近の地震活動(5)

1980年7月～1981年9月

Seismic Activity in the Northwestern Chubu Region (Northern Hida and its Surrounding Areas) (5) July, 1980-September, 1981

京都大学防災研究所

上宝地殻変動観測所

Kamitakara Crustal Movement Observatory,
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

1980年7月より1981年9月迄の最近15か月間の飛騨地方北部とその周辺の地震活動状況について報告する。

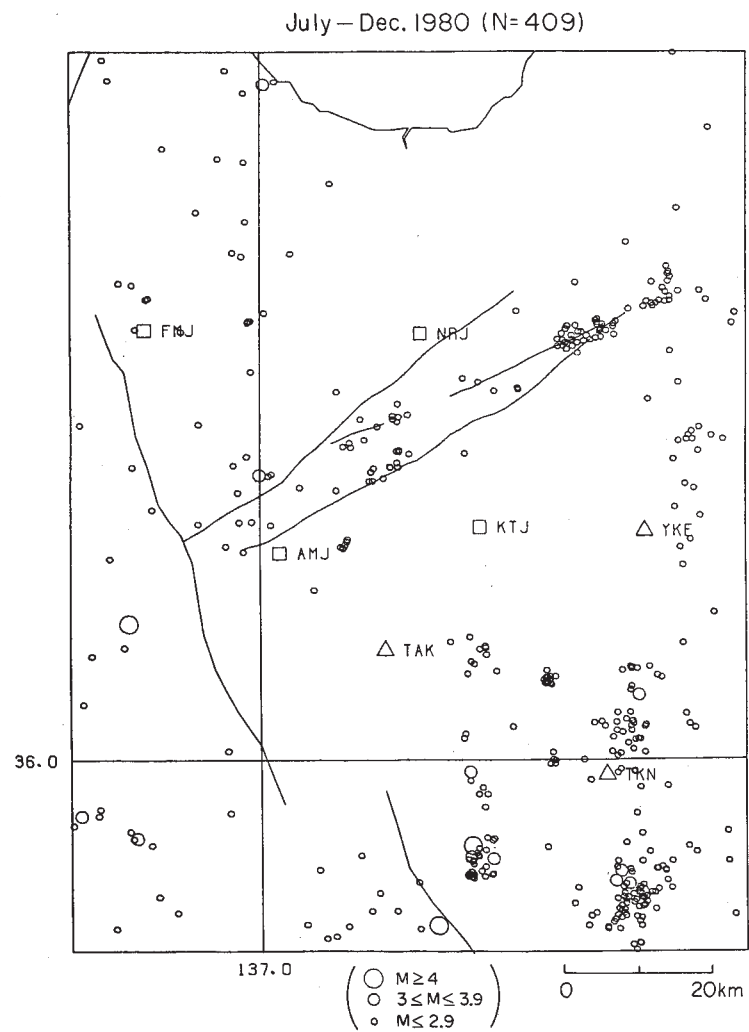
第1, 2, 3図はそれぞれ1980年7月～12月の6か月間, 1980年1年間及び1981年1月～9月の9か月間, 上宝地殻変動観測所の地震観測網4点と名古屋大学高山地震観測所の3観測点の観測から決定した震央分布を示す。これらの期間中の主な地震活動は次の通りである。

1980年後半には前報¹⁾に述べた通り, 白山付近(7月), 阿寺断層西側(8月), この断層東側の飛騨小坂付近(9月)に $M > 4$ の顕著な活動があった。この後1981年9月迄の期間には, 6月17日, 牛首断層北側($M = 4.2$, 余震6個を含む)と, 7月1日, 飛騨小坂付近($M = 4.0$)に $M \geq 4$ の比較的大きい地震が発生した。

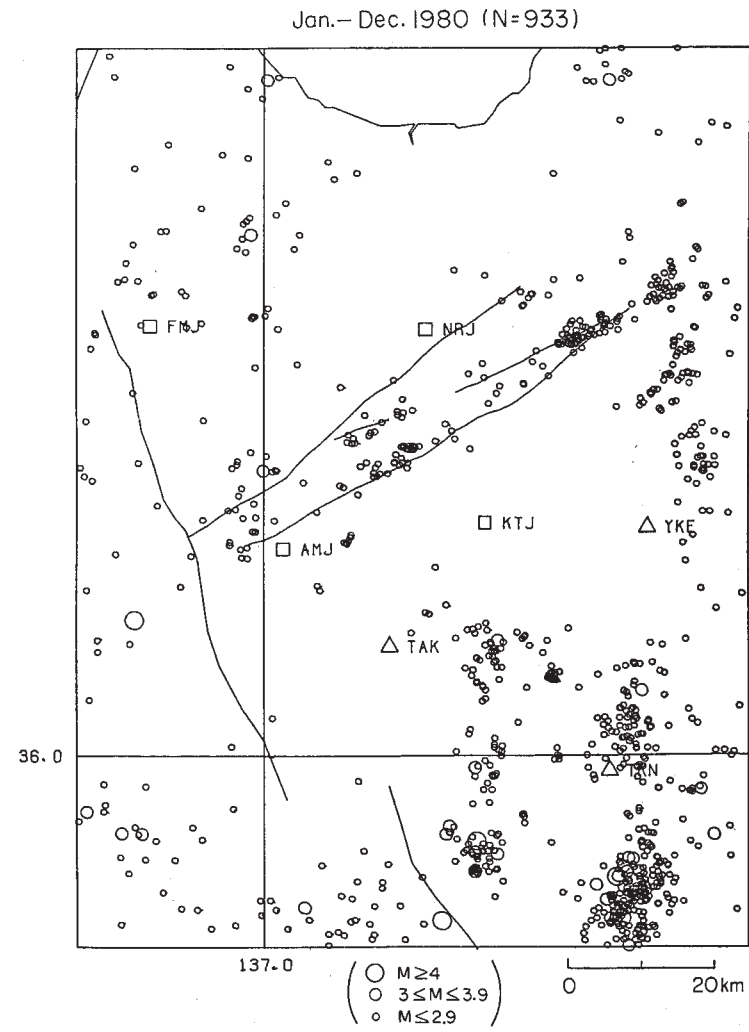
上の期間中には, 跡津川断層沿い, 北アルプス周辺, 御岳山東南方に継続した活動が見られる。北アルプス周辺では1/19と2/21に乗鞍岳付近, 5/11, 7/28に焼岳付近, 5/29～30, 7/29, 9/5に烏帽子岳付近に $M > 3$ を含む群発地震活動があった。これ以外のやゝ顕著な活動($M > 3$)としては, 富山県南西部で2/20庄川町付近, 6/13平村付近, 8/10八尾町付近, さらに4/7跡津川断層西端天生付近, 7/24同断層東部有峰湖西方などの地震である。

参 考 文 献

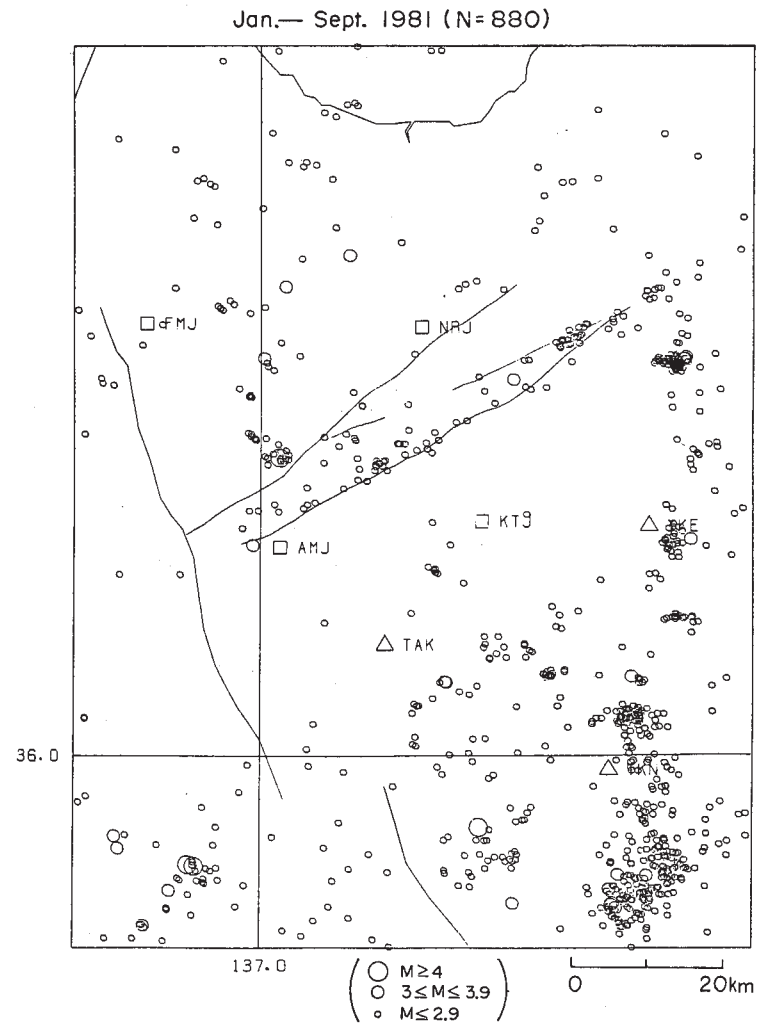
- 1) 京大防災研究所上宝地殻変動観測所・地震予知計測部門: 中部地方北西部(飛騨地方北部及び周辺)の地震活動(3), 1979年1月～6月, 連絡会報 **23** (1980), 115-117
- 2) 同上(4), 1979年6月～1980年6月, 連絡会報 **25** (1981), 245-249



第1図 飛騨北部地方の地震活動(1980年7月-12月)
 Fig. 1 Seismicity in the northern Hida region, July, 1980-December, 1980.



第2図 飛騨北部地方の地震活動(1980年1月-12月)
 Fig. 2 Seismicity in the northern Hida region, January-December, 1980.



第3図 飛騨北部地方の地震活動(1981年1月-9月)
 Fig. 3 Seismicity in the northern Hida region, January-September, 1981.